

NEILPRYDE

world champion sail **WIZARD** new release



WIZARD

NEILPRYDE DESIGN CENTRE

AND FREESTYLE WORLD CHAMPION, STEVEN VANBROCKHOVEN

JOINED POWERS TO DREAM UP THE WIZARD

– THE ULTIMATE SAIL FOR NEW SCHOOL FREESTYLE RIDING.

MORE POWER, MORE RESPONSE, MORE AIR. EASY TO HANDLE, EARLY PLANING AND A LOT OF DRIVE. YOU LEAD AND IT WILL FOLLOW. WORKS LIKE MAGIC.

ウィザードはニールプライド・デザインセンターとフリースタイルの世界チャンピオンであるスティーブ・バン・ブロッコベンがコラボして作り上げた夢のセイルです。ニュースクール系のフリースタイルの最終兵器で、よりパワフルに、より反応力が高く、エアに最適なセイルです。ハンドリングとプレーニング力に優れ、ドライブしてくれます。セイラーが思う通りに動く、マジックのように動くセイルなのです。

5.7以下は4本バテン

最大のパフォーマンスと最軽量化を両立。

テトロン製のラフパネル

細いスリーブと組み合わせることで短時間でニュートラルにセイルが変化します。

均等なシェイプ

トップまで、セイルボディ全体に均等に面積を持たせたのでウィザードは非常にプレーニング力に優れ、ムーブの最中に瞬時にリフト力が生まれます。

センター寄りのプロファイル

トルクとコントロール性をバランス良く両立させています。



SIZES:

- 3.8
- 4.2
- 4.5
- 4.8
- 5.1
- 5.4
- 5.7
- 6.1
- 6.5



ラフ上部のカーブを大きめにつけることで、パワーとセイルボディのテンションを保ちながら、リーチをタイトにし安定性を持たせています。これによってセイル全体からパワーが生まれるので、ダックジャイブなどのマニューバでセイルが自然に浮き上がり、クリューファーストのムーブの最中にもリーチテンションを良い状態に保ちます。またムーブを組み合わせても直ちにセイルが対応します。

Robert Stroj



正しいセッティングをすることがウィザードには大切です。純粋なフリースタイルセイルなので、ダウンホールのテンションはウェイブセイルのように引く必要はありません。僕は上2本のバテンの間のリーチがルーズになるようにダウンを緩めにセッティングしています。こうセッティングすることで、ニュースクール系のトリックに必要なプロファイルを保ち、セイルにパワーを待たせることができます。

Steven van Broeckhoven



セーリング中にブームがセイルに付かないように充分にアウトホールを引くことが大切です。ブーム上のバテンがマストの半分くらいの位置に来るようならば正しくセッティングされています。

Bryan Perez

Size	Luff +/- 1cm	Boom + / - 1cm	Base	Battens	Weight	Ideal Mast	Top Finishing	Pice(incTax)
3.8	367	145	28/0	4	3	340/370	Vario Top	¥86,100
4.2	384	151	14	4	3.2	370	Vario Top	¥88,200
4.5	398	156	28	4	3.3	370/400	Vario Top	¥89,250
4.8	409	161	10	4	3.4	400	Fixed Head	¥90,300
5.1	424	166	24	4	3.45	400	Fixed Head	¥91,350
5.4	438	171	8	4	3.55	430	Fixed Head	¥92,400
5.7	448	176	18	4	3.65	430	Fixed Head	¥94,500
6.1	459	181	30	5	4.05	430	Fixed Head	¥96,600
6.5	469	187	10/40	5	4.2	460/430	Fixed Head	¥98,700



2013新しい構造

放射状のスレッドラインパネル

(セイルのコーナーにパッチを張るのはもう終わり)

2012モデルでアーマーウェブ素材に強度の高いダイニーマ・ヤーンを取り入れました。2013モデルでは、タックとクリューの補強材をセイルボディ本体に組み込むようにし、より一歩前進したセイルの構造を取り入れました。重く伸びないダクロンを何重にも重ねたレイヤーはもはや必要ありません。そしてセイルのコーナーにはしっかりとラミネートされたパネルが組み込まれ、放射線状のケブラーとポリエステル製の糸がセイルボディにかかる加重をまんべんなく分散させます。



これらのパネルは熱と加圧によって薄く成形されるヨットのセイルづくりのハイテクを真似た構造を採用し、セイルのコーナーにかかる加重と同じように糸にも加重がかかるよう、糸を配置しています。

その結果、強度のあるセイルに仕上がりに、重要な箇所には伸縮性を少なくしながら別のパーツを付けずに加重を分散する技術を取り入れることができました。ニールプライド独自のアーマーウェブと合わせて用いることで、従来のクリューパネルを取り付ける構造と比べ、この放射状のスレッドラインパネルは革命的に進化した技術となります。すべてニールプライド独自の技術なのです。

